

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街				
重点課題	2	札幌の経済を支える企業・人の支援				
主 な 取 組 内 容						
19年度(実績)			20年度(予定)			
施策1	資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実					
	<p>市内中小企業へ事業経営に必要な資金を融資(新規融資件数8,379件、新規融資額94,534,195千円)</p> <p>海外販路開拓支援等の実施 ・海外における物産と観光展事業(台湾・台北市)・第2回北海道産食品展示会in北京 等 市内卸売業の道外販路拡大支援等の実施 ・全国最大級の商品見本市である「東京インターナショナルギフト・ショー春2008」への共同出展支援 等</p>		<p>市内小規模事業者に必要な小口資金を融資するため、小規模経営改善資金を「元気がんばれ資金」へと制度改正(融資枠9億円) 民間企業から派遣された人材を中心にさっぽろ産業振興財団内に「産業企画推進室」という機動的な組織を新たに立ち上げ、中小企業等とのネットワークづくりや企業マッチング等の事業展開を開始した。 海外販路開拓支援等の実施 ・海外における物産と観光展事業(香港)・第3回北海道産食品展示会in北京 等 市内卸売業の道外販路拡大支援等の実施 商品見本市への共同出展支援等を実施するとともに、今後、地域資源として発展する可能性の高い「花き」に注目し、地域の流通について調査を進め、道外販路拡大の手法を検討</p>			
施策2	安心して働ける環境づくりの推進					
	<p>就業者総合サポート事業 ・「仕事の悩み相談室」を19年6月開設(相談者数148人) ・メンタルヘルス・改正パートタイム労働法をテーマとした啓発セミナー「安心して働ける市民応援セミナー」を開催(2回)</p> <p>若年層に対する就業支援事業 ・就業体験を中心にセミナーや合同企業説明会等を組み合わせた就業支援事業(ジョブチャレンジ事業)を実施(受講者166人、就職率42.8%) ・求職者を対象とした業界知識等の習得を目的とした研修や就職内定者を対象とした早期の社会適応等を目的とする研修を開催 産業人材の育成事業 IT、観光などの集客交流産業、ニュービジネス、小売・サービス業の産業人材の育成と雇用の創出(地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)による就職者数933人)</p>		<p>就業者総合サポート事業 ・「仕事の悩み相談室」の利用時間拡大、相談体制の充実 ・メンタルヘルス専門スタッフ派遣事業の新規実施 ・シニア(60歳以上)向け体験型再就職支援事業の新規実施(受講者120人) 若年層に対する就業支援事業 ・就業体験を中心にセミナーや合同企業説明会等を組み合わせた就業支援事業(ジョブチャレンジ事業)を実施(目標:受講者300人、就職率30%) ・就職内定者を対象とした早期の社会適応等を目的とする研修等を引き続き開催するとともに、職場定着・就業意欲を促進する講演会を新たに開催 産業人材の育成事業 食、健康・福祉サービス産業、組込系IT・映像コンテンツなど新産業分野の人材育成と雇用の創出(地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業))</p>			
施策3	創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援					
	<p>「女性起業家セミナー」及び「シニア創業セミナー」を開講(受講者延べ25人)</p> <p>ベンチャー支援事業 新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援(新規3件、継続4件) 市内中小製造業者等に対し、「新製品開発・既製品改良に関する事業(6件)」、「ネットワーク構築・推進に関する事業(2件)」、「人材育成・確保に関する事業(2件)」の経費の一部を補助し、競争力・成長性の向上を支援</p> <p>コミュニティ型建設業創出事業 地域や個人に存在する様々な生活ニーズと、建設業等が持つ経営資源を、マッチング・コーディネートし、地域や住民が抱える課題を安心して解決できる仕組みを作るとともに、地域に根ざした建設業の新たな事業の展開を支援</p>		<p>女性やシニア向け起業セミナーの拡充とともに、ハンズオン型の起業支援を行う「女性・シニアのためのさっぽろ起業道場」を新たに開催 ベンチャー支援事業 新たに3件程度の個人・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援するとともに、経営ノウハウを有する人材を登録したスキルエンジェル制度を活用。 「新製品開発・既製品改良に関する事業(5件)」、「ネットワーク構築・推進に関する事業(3件)」、「人材育成・確保に関する事業(3件)」の補助採択件数をそれぞれ拡充するため、計画以上の事業費を確保し、競争力・成長性の向上を支援 コミュニティ型建設業創出事業 地域や個人が持っている潜在的なニーズを掘り起こすために、市民向けのセミナーを増加(2回 6回)するなど、市民へ向けた事業PRを拡充。</p>			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	2	札幌の経済を支える企業・人の支援
評価（成果）		課題
施策1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実		
<p>資金面での支援という観点では、中小企業金融対策資金において18年度よりも若干、利用が落ち込んだものの、市内約73,000事業者に対し8,379件の融資を実行し、計画を上回る利用があったことから、中小企業の資金調達の円滑化に多に貢献した。</p> <p>市内中小企業の販路拡大支援では、国内外において商談会や商品見本市等への出展支援を行うことで、これまでの取引先とは異なる地域や業態との商談が促進されるなどの効果が見られ、販路拡大につながる取り組みとなった。</p>	<p>「資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実」という観点では、中小企業に対する融資資金や相談・アドバイス件数は順調に推移しており、セーフティーネット的支援は充実しつつある。しかしながら、昨今の札幌経済の動向を見ると、例えば事業所数及び従業者数が本市全体の約1/4を占める基幹産業である卸売・小売業については、道内人口の減少や流通短絡化の影響等に伴い縮小傾向を示していることから（年間販売額：平成16年約10.0兆円 平成19年約8.7兆円、従業員数：平成16年約19.4万人 平成19年約17.5万人）、地域経済における域際収支や雇用状況の悪化が懸念されている。</p>	
施策2 安心して働ける環境づくりの推進		
<p>官民共同で職業相談・職業紹介を行っている就業サポートセンターでは、厳しい雇用情勢にもかかわらず年間1,000人を超える就職者数を達成した。</p> <p>啓発セミナーの実施や幅広い相談に応じる「仕事の悩み相談室」を新規に開設するなど、労働者等が抱える様々な問題解決に努め、安心して働ける環境づくりに貢献した。</p> <p>若年層の就業支援により、就業意欲の向上が図られるとともに、企業とのマッチングにより雇用機会が増大するなど、就職率向上に寄与した。</p> <p>パッケージ事業によって、平成17～19年度の3か年で2,651人（平成19年度は933人）の雇用が創出でき、大きな成果である。また、パッケージ事業と本市が取り組む他の事業を合わせて実施することで、本市事業でも就職者数1,812人の成果となるなど、相乗効果があった。</p>	<p>「安心して働ける環境づくりの推進」という観点では、就業支援事業の中核をなす就業サポートセンターについては、利用者数は増加傾向にあるものの、本市の有効求人倍率は依然として低い水準であり、厳しい雇用状況が続いているため、より効果的な就業支援を行う必要がある。</p>	
施策3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援		
<p>「女性起業家セミナー」や「シニア創業セミナー」、さらにはベンチャー支援事業により、起業家や創業間もないベンチャー企業に対し、経営ノウハウ等の提供により、円滑な創業、事業展開を支援することができた。</p> <p>新たな事業にチャレンジする市内製造業者に対し、積極的に支援を行ったことで、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化等が円滑に行われ、製造業の競争力強化・成長性向上につながった。また、コミュニティ型建設業創出事業において、建設業が保有する経営資源を有効活用し、地域や個人に存在する様々なニーズを充足する新たなビジネスを創出し、もって建設業の新分野進出及び雇用の維持・確保に貢献することができた。</p>	<p>「創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援」という観点では、新製品の開発等に関する支援については一定の開発成果が上がっているものの、マッチングや販路拡大等も含めた一体的な支援が必要である。</p>	
今後の重点取組		
<p>「資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実」及び「創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援」という観点では、（財）さっぽろ産業振興財団に民間企業から派遣された支援コーディネーター等により中小企業訪問の密度をより高め、業界懇談会や有識者会議なども踏まえながら中小企業のニーズを探り、より効果的な施策を企画・立案していく。さらに、創業した企業や新事業にチャレンジした企業に対しては、支援コーディネーター等を活用しながら、マッチングや販路拡大等も含めた一体的な支援を強化していく。</p> <p>また、地域経済の動向を分析したうえで、中期的な視点からの本市産業振興施策のあり方について、検討を進めていく。</p> <p>「安心して働ける環境づくりの推進」という観点では、国や道との連携を一層密にしながら、本市においては女性やシニアの就業支援を強化するなど、それぞれの役割のもとで、より効果的な事業推進に努めていく。</p>		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	2	札幌の経済を支える企業・人の支援

成果指標等の動向

項目1	中小企業向け融資制度の新規融資件数(単位:件)	項目2	中小企業向け融資制度の新規融資額(単位:億円)																
<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>8,579</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>8,379</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>8,900</td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)	8,579	H19 (実績)	8,379	H22 (目標値)	8,900	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>1,095</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>945</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>1,109</td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)	1,095	H19 (実績)	945	H22 (目標値)	1,109
Year	Value																		
H18 (現状値)	8,579																		
H19 (実績)	8,379																		
H22 (目標値)	8,900																		
Year	Value																		
H18 (現状値)	1,095																		
H19 (実績)	945																		
H22 (目標値)	1,109																		
<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>4,034</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>5,253</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>8,000</td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)	4,034	H19 (実績)	5,253	H22 (目標値)	8,000	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>166</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>195</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>300</td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)	166	H19 (実績)	195	H22 (目標値)	300
Year	Value																		
H18 (現状値)	4,034																		
H19 (実績)	5,253																		
H22 (目標値)	8,000																		
Year	Value																		
H18 (現状値)	166																		
H19 (実績)	195																		
H22 (目標値)	300																		
<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>4,441</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>4,436</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>6,000</td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)	4,441	H19 (実績)	4,436	H22 (目標値)	6,000	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td></td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td></td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td></td></tr> </table>		Year	Value	H18 (現状値)		H19 (実績)		H22 (目標値)	
Year	Value																		
H18 (現状値)	4,441																		
H19 (実績)	4,436																		
H22 (目標値)	6,000																		
Year	Value																		
H18 (現状値)																			
H19 (実績)																			
H22 (目標値)																			

成果指標等から見た重点課題の評価

「中小企業向け融資制度の新規融資件数(項目1)及び新規融資額(項目2)」では平成19年10月に導入された責任共有制度の影響もあってか平成18年度よりも若干、落ち込みが見られたが、市内約73,000の事業者に対し、8,379件の融資実績は中小企業の資金調達の円滑化に寄与していると評価している。

平成20年度には「元気がんばれ資金」を創設するなど、中小企業者の資金ニーズや社会情勢等の変化に機動的に対応し、利用しやすい融資制度を今後も追及していく。

「経営や起業に関する相談・アドバイス件数(項目3)」及び「展示会・商談会への参加企業数(項目4)」は増加傾向にあり、中小企業支援、販路拡大支援に寄与していると評価している。引き続き、事業PR等に努めるとともに、(財)さっぽろ産業振興財団に民間企業から派遣された支援コーディネーター等により中小企業訪問の密度をより高め、業界懇談会や有識者会議なども踏まえながら中小企業のニーズを探り、より効果的な施策を企画・立案していく。

さらに、創業した企業や新事業にチャレンジした企業に対しては、支援コーディネーター等を活用しながら、マッチングや販路拡大等も含めた一体的な支援を強化していく必要がある。

「雇用創出事業及びマッチングによる就職者数(項目5)」については、毎年4,000人を越える就職者が生まれており、大きな成果が出ている。引き続き厳しい雇用情勢が見込まれることから、国や道との連携を一層密にしながら、本市においては女性やシニアの就業支援を強化するなど、それぞれの役割のもとでより効果的な事業推進に努め、雇用のミスマッチの解消に努めていく。

今後も平成22年度の計画目標に向け、「札幌の経済を支える企業・人の支援」をより一層、充実させていく必要がある。